広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	経管栄養患者における薬剤関連チューブ閉塞の実態調査と RPA を用いた粉砕不可薬剤検出システムの構築
研究責任者 (所属科名)	佐々木　麻里 （薬剤部）
本研究の目的・意義	パソコン上の決まった作業を自動で行う仕組みである Robotic Process Automation(RPA)により、経管栄養投与患者の使用薬剤を出力、経管投与不可薬のチェックを行い、医療安全の向上を図ったため、結果を検証します。またインシデントレポートを元にチューブ閉塞の実態を調査し、再発防止に取り組みます。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 研究期間：倫理委員会承認後～2026 年 12 月を予定しています
該当資料・データ	●対象となる患者様： 2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に当院に入院され、経管栄養投与を行った方 ●利用する情報： 電子カルテに記載のある診療記録から経管栄養投与の患者基本情報（年齢，性別，診療科，経管留置期間，在院日数）、使用薬剤を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 担当者：佐々木　麻里（薬剤部）
備考	